

食品包材の安全・安心

Profil

 三菱商事パッケージング株式会社

内藤 真 Makoto Naitoh

著者紹介

東京理科大学 応用化学科卒 「包材の総合サプライヤー」の視点から“信頼性の高い包材の供給”を目的に、包材工場の設備・管理の調査やアドバイスを行い、包装業界の安定を目標としている。業界誌への寄稿やセミナーを通じて、包装業界に、さらなる安全・安心な包材の供給を提言。海外ではカトラリー類の中国各地の工場の管理と品質向上を推進している。

JRCA登録 ISO9001品質管理マネジメントシステム審査員補

【包装産業展示会】

包装は、食品の変化と取り巻く環境に応じて、進化しています。包装関連企業は最新技術のアピールと方向性を示すため、多くの特色ある自社製品を出品しています。代表的な展示会として、日本では「東京国際包装展」(TOKYO PACK)、「日本包装機械工業展」(JAPAN PACK)、米国では“PACK EXPO International”、独国では“interpack”が開催され、包装に関わる企業の動向や市場の要請などのトレンドが活発に発信されています。今回はその中から概要をご紹介します。

○東京国際包装展

TOKYO PACK2018

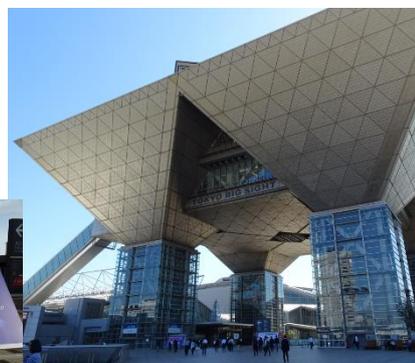
会 期:2018年10月2日～5日

会 場:東京ビッグサイト

主 催:日本包装技術協会

出展社数:約700社

来場者数:約6万2千名



*TOKYO PACK2018 会場 東京ビッグサイト

・主な出展

出展分類名	包装資材・容器	包装機械	印刷・包材加工機械	検査・計測・包材関連資材	中国・韓国・台湾パビリオン
会社数	143	98	60	43	143

テーマは「考えよう 地球をまもるパッケージ」でした。さまざまな業界で活躍している包装資材、容器、包装機械を中心に、生産、物流、販売、廃棄、リサイクルに至るまでのあらゆる分野の展示が行われました。

包材や包装機械を見て、包装の役割である「内容物の保護」「使い易さ」「情報の伝達」を再認識し、食品包装技術の動向を確認できる展示会です。

HACCPにかかわるものとしては、画像検査器・金属検出器・X線検査機、エアシャワーなどの工場設備、衛生コンサルタント・調査機関などが展示されていました。また、セミナーでは、包装の最新技術や新素材の紹介以外に、食品工場の安全・安心、食品衛生法における器具・容器包装の規制、海外の法規制など、HACCPへの意識の高まりを感じさせました。

三菱商事パッケージングからは、「生活者視点」での新しいニーズを生み出すパッケージを意識し、使用シーンがイメージできるよう、実際にサンプルを手にとって頂ける形で、海外からの包装技術・製品を紹介しました。使いやすい逆さ置きスタンディングパウチ：「Standcap Pouch」、電子レンジ調理パウチ：「Fres-cook」の他、再封緘で軟包装と成型容器をもった「PrimaPak」を紹介しました。



*三菱商事パッケージング展示ブース



*Standcap Pouch



*fres-cook



*PrimaPak

ひとことコメント

食品加工には包装は不可欠なものです。展示会は、包材と包材加工機器、食品充填機、検査機器などの包装技術を見ることができる機会ですので、食品やHACCPに関わるみなさまにも、訪問して頂きたいと思えます。

次回開催

- ・日本包装産業展 (JAPAN PACK) : 2019年10月29日～11月1日
- ・東京国際包装展 (TOKYO PACK) : 2021年2月24日～2月26日

OPACK EXPO

PACK EXPO International 2018

会 期: 2018年10月14日～17日

会 場: 米国シカゴ

出展社数: 約2,500社

来場者数: 約4万5千名



*PACK EXPO 会場正面玄関

*エントランス

この展示会は米国シカゴとラスベガスで毎年交互に実施されます。2018年はシカゴの世界最大級のコンベンションセンター（東京ビッグサイトの約3倍）で開催されました。約130ヶ国の包装関連企業から、紙やプラスチックなどの包装資、包装機械の、充填機さらに搬送ライン、部品などが総合的に展示され、米国市場を意識しながらも国際的な包装展示会となっています。

キーワードとして、包装トレンドTOP3が挙げられました。

- ・Health and Wellness(健康志向/消費者はより健康に良い物を買う)
- ・Environmental Concerns(環境配慮/リサイクル・省資源)
- ・Rise of the Middle Class(中間所得の増加 アジア・大西洋・ラテンアメリカの中間所得層が包装された食品を購入)

このキーワードのように消費者を意識した包装には、食品安全・安心が求められ、HACCP の概念は不可欠になります。

○interpack

interpack2017

会 期:2017年5月4日～10日

会 場:独国デュッセルドルフ

出展社数:約2,800社

来場者数:約17万名



*interpack 会場入口

この展示会は、デュッセルドルフで3年ごとに開催される世界最大の包装資材と包装機械の展示会です。

この展示会からは、次のキーワードが読み取れました。

- ・SUSTAINABLE・・・環境に配慮しながら今後も持続できる
- ・SAVE FOOD・・・食品ロス低減
- ・industry4.0・・・第4の産業革命といわれる工業のデジタル化

包材の機能に着目したものとしては、真空包装によるロングシェルフライフ対応、味覚を保持するための加熱調理時間の短縮、生鮮野菜の鮮度保持機能、電子レンジ調理後の保温性維持がありました。また使いやすさでは、フタを開けやすくするためのシール強度調整と再封緘機能、開封後も口栓なしで保管できる袋などが展示されていました。

ひとことコメント

このように、包装産業は世界に拡がっており国際化しています。海外では、PACK EXPO、interpack 以外にも様々なテーマで催され、また東南アジア諸国でも開催されています。今回は、包装の展示会をご紹介しましたが、包装産業の拡がりを感じて頂きたいと思います。